

月報

# フルードパワー

No. 248-249 合併号 2020. 3. 31.

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本部：〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8号 機械振興会館内  
TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

## 中小・国際 講演会開催

国際委員会及び中小企業委員会共催の講演会が2月5日(水)15:00~17:00の間、機械振興会館6D-4会議室で開催いたしました。今回は、(一社)日本歯車工業会とも共催し、PWCコンサルティング合同会社 公共事業部コンサルタント シニアソシエイト 森川大智様を講師としてお招きし、「職務分析・職務評価とは ~同一労働同一賃金への対応に向けて~」のテーマで、中小企業委員会十萬幹雄委員長から講師の略歴紹介があり、その後ご講演いただきました。



講演会風景

## 主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第9回技術講演会の開催・・・・・・・・・・	1	技術調査事業・・・・・・・・・・	4
委員会開催・活動状況		広報・PR事業・・・・・・・・・・	5
需要対策事業・・・・・・・・・・	2	中小企業関連事業／その他事業	6
国際交流事業・・・・・・・・・・	2	今後の主要行事予定	6
標準化事業／ISO対策事業	2	統計資料	9
標準化事業／規格事業	3		

(一社) 日本フルードパワー工業会  
URL <http://www.jfpa.biz/>

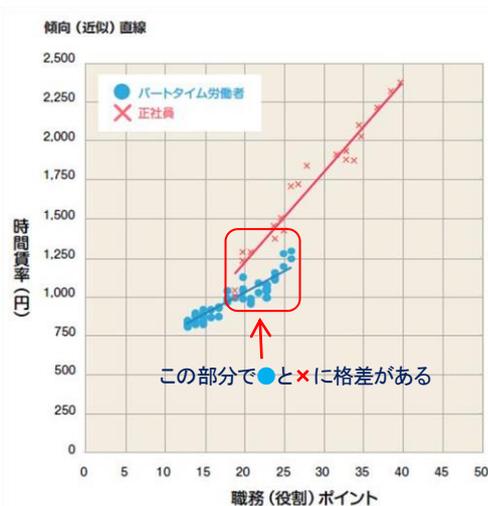
講演内容は、働き方改革法の中で、仕事内容や配置転換の範囲が正社員と同じである場合は賃金や休暇、福利厚生など同じ待遇確保(均等待遇)を企業に義務付ける「同一労働同一賃金」は、来年4月から中小雇用主(企業)にも義務付けられることを受けて、その対応の仕方、考え方についてでした。具体例として、職務分析(職務に関する情報を収集・整理し、職務の内容を明確にすること)と職務評価(社内の職務内容を比較し、その大きさを相対的に測定する手法)が紹介されました。

具体的な職務分析・職務評価として、下記8つの評価項目に対して、各社員毎に5段階評価します。

評価項目	定義
①人材代替性	採用や配置転換によって代わりの人材を探すのが難しい仕事
②革新性	現在の方法とは全く異なる新しい方法が求められる仕事
③専門性	仕事を進める上で特殊なスキルや技能が必要な仕事
④裁量性	従業員の裁量に任せる仕事
⑤対人関係の複雑さ(部門外/社外)	仕事を行う上で、社外の取引先や顧客、部門外との調整が多い仕事
⑥対人関係の複雑さ(部門内)	仕事を進める上で部門内の人材との調整が多い仕事
⑦問題解決の困難度	職務に関する課題を調査・抽出し、解決に繋げる仕事
⑧経営への影響度	会社全体への業績に大きく影響する仕事

8つの評価項目(各5段階評価)

正規社員とパート労働者を含めた全社員の職務(役割)ポイント合計点と時間賃率(円)を下記グラフのように全社員分をプロットした図で確認します。

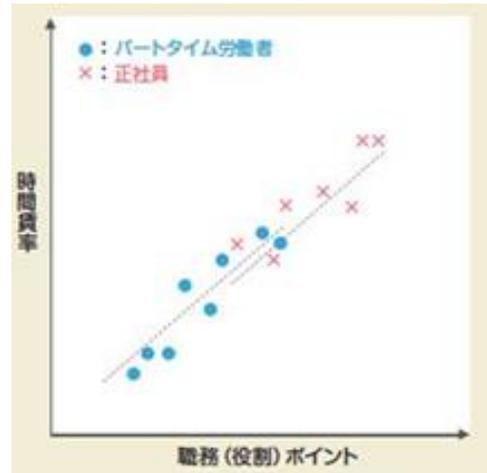


悪い例：正規社員とパートに格差あり

上のグラフは同じ職務(役割)ポイントの所で、時間賃率(円)が正規社員とパートの人達に格差がある悪い例です。

職務(役割)ポイントと時間賃率(円)のグラフが、正規社員とパートの人達で同一線上に分布している下記のグラフが、正規社員とパートに格差のない良い

例となります。



良い例：正規社員とパートに格差なし

講演終了後、30分間の質疑応答では再雇用社員の場合について、その他多くの具体的な質問があり、講師より分かり易く説明がありました。講演終了後のアンケートでも、自社のやり方を再検討するのに大変参考になった。実際に社内の正規・非正規の人を想定した評価点を集計する演習があり、分かり易くタイムリーな講演だった。等と参加者からも大変好評でした。

本件については厚労省の URL :

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000144972.htm> でも詳しく見る事が出来ます。

なお、当初もう一つのテーマとしてご案内した、JETRO 北京事務所の國峯彰太様による「中国デジタル戦略の動向」については、講師が新型コロナウイルスの影響で、中国から帰国出来なくなったため、残念ながら中止とさせていただきます。

~~~~~  
国際交流事業  
~~~~~

国際委員会・中小企業委員会共催講演会  
日時 2月5日(水) 14:00~17:00  
場所 機械振興会館 6D-4会議室  
出席者 17名  
事務局 藤原、堀江  
議事

(1頁及び2頁参照)

~~~~~  
標準化事業/ISO 対策事業  
~~~~~

#### 空気圧コンタミ分科会

日 時 2月7日(金) 13:30~16:30

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 田中主査以下 4名

事務局 前畑

#### 議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について審議した。ISO/SR 12500-3 については、特に問題ないため Confirm にて投票することとした。

次いで、本年開催の ISO/TC118 国際会議のスケジュールについて紹介があり、情報共有した。

次いで、ポケットブック改訂に関して、当分科会担当分について改訂作業を実施した。

次いで、JIS B8392-2 (対応国際規格: ISO 8573-2) の改正について討議した。対応国際規格の改正内容を確認すると共に、具体的な改正作業の進め方について討議し、2020 年度区分 B 公募にて申請し改正することとした。

最後に、今年度活動実績と来年度活動計画について討議した。来年度は、継続で「JIS B8392-2 (圧縮空気—第 2 部: オイルミストの試験方法) の改正」を取り上げることとした。

次回開催: 5月15日、機械振興会館

→コロナ影響により別途調整

#### 空気圧バルブ分科会

日 時 2月12日(水)、13:30~16:30

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 渡邊主査以下 5名

事務局 前畑

#### 議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について審議した。ISO/CD 12238 については、ミラノ会議にて議論されたコメントシートを確認した後、投票することとした。また、ISO/SR 11727 については、特に問題ないため Confirm にて投票することとした。

次いで、本年開催の ISO/TC131 国際会議のスケジュールについて紹介があり、情報共有した。

次いで、ポケットブック改訂に関して、当分科会担当分について改訂作業を実施した。

次いで、ISO 19973-2 に関する日本提案について討議した。次回定期見直しの際のコメントについて検討し、今後も継続していく。

最後に、今年度活動実績と来年度活動計画について討議した。来年度は、継続で「ISO 19973-2 に対する日本提案の検討」、新規で「JIS B8672-2 (空気

圧—試験による機器の信頼性評価—第 2 部: 方向制御弁) の改正」を取り上げることとした。

次回開催: 6月10日、機械振興会館

#### 空気圧調質機器分科会

日 時 2月18日(火) 13:00~16:00

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 國崎主査以下 4名

事務局 前畑

#### 議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について審議した。ISO/SR 6953-1 及び ISO/SR 6953-2 について、両規格共に特に問題ないため Confirm にて投票することとした。

次いで、本年開催の ISO/TC131 国際会議のスケジュールについて紹介があり、情報共有した。

次いで、JIS B8372-1 (空気圧用減圧弁及びフィルタ付減圧弁—第 1 部: 供給者の文書に表示する主要特性及び製品表示要求事項) 及び JIS B8372-2 (同一第 2 部: 供給者の文書に表示する主要特性の試験方法) の改正について、日本規格協会からの指摘事項とそれに対応する修正内容の確認を行った。

次いで、ポケットブック編集委員会に関して、当分科会の担当部分の審議を行った。

最後に、今年度活動実績と来年度活動計画について討議した。来年度は、新規で「JIS B8672-4 (空気圧—試験による機器の信頼性評価—第 4 部: 減圧弁) の改正」を取り上げることとした。

次回開催: 4月21日、機械振興会館

→コロナ影響により別途調整

#### 油圧バルブ分科会

日 時 2月25日(火) 13:00~16:00

場 所 機械振興会館 6-62 会議室

出席者 浦井主査以下 6名

事務局 前畑

#### 議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について審議した。ISO/FDIS 9110-1 及び ISO/FDIS 9110-2 は、両案件共に特に問題ないため Approval にて投票することとした。

次いで、本年開催の ISO/TC131 国際会議のスケジュールについて紹介があり、情報共有した。

次いで、ポケットブックの改訂について、当分科会で作業する内容に関して討議した。

次いで、JIS B8357 (油圧用圧力補償付流量調整弁—取付面及び取付寸法) の改正について審議した。

前年に引き続き、対応国際規格と対比しながら修正作業を行った。また、本 JIS は 2020 年度 JIS 公募区分 B に申請し改正することとした。

最後に、今年度活動実績と来年度活動計画について討議した。来年度は、継続で「JIS B8357 の改正」を、新規で「JIS B8665 (油圧バルブ取付面及びカートリッジ形弁取付穴形状の識別コード) の改正検討」を取り上げることにした。

次回開催：7月1日、機械振興会館

#### \* ISO の動き

発行された ISO 規格

(TC131)

ISO/TR 22164:2020, Hydraulic fluid power – Application notes for the optimization of the energy efficiency of hydraulic systems

投票に付されている ISO 規格案 (FDIS, DIS)

(TC131)

ISO/FDIS 23309, Hydraulic fluid power systems – Assembled systems – Methods of cleaning lines by flushing

ISO/FDIS 9110-1, Hydraulic fluid power – Measurement techniques – Part 1: General measurement principles

ISO/FDIS 9110-2, Hydraulic fluid power – Measurement techniques – Part 2: Measurement of average steady-state pressure in a closed conduit

ISO/DIS 10094-2, Pneumatic fluid power – Electro-pneumatic pressure control valves – Part 2: Test methods to determine main characteristics to include in the supplier's literature

ISO/DIS 4406, Hydraulic fluid power – Fluids – Method for coding the level of contamination by solid particles

ISO/DIS 11171, Hydraulic fluid power – Calibration of automatic particle counters for liquids

~~~~~

標準化事業／規格事業

~~~~~

空気圧システム分科会

日時 2月5日(水) 13:00~16:00

場所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 増尾主査以下 6 名

事務局 前畑

議事

前回の議事録の確認後、本年開催の ISO/TC131 国際会議のスケジュールについて紹介があり、情報共有した。

次いで、ISO/TR 22165 (Application notes for the improvement of the energy efficiency of pneumatic systems) の JIS 化について討議した。内容的に規格ではなく指針であるため、JIS ではなく、必要であれば JFPS として制定すればよい、との結論となった。

次いで、ポケットブック改訂に関して、当分科会担当分について改訂作業を実施した。

最後に、今年度活動実績と来年度活動計画について討議した。来年度は、継続で「ISO 1219-3 の JIS 化」を、新規で「JIS B0142 (用語) の改正検討」及び「JFPS 2011 (空気圧用図記号の実用指針) の改正検討」を取り上げることにした。

次回開催：5月27日、機械振興会館

→コロナ影響により別途調整

空気圧エアドライヤ分科会

日時 2月7日(金) 14:00~16:30

場所 機械振興会館 6-60 会議室

出席者 花澤主査以下 4 名

事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、ポケットブック改訂について、当分科会の担当部分について改正案を審議した。

次いで、エアドライヤのトラブルシューティングに関するガイドラインについて討議した。前回の討議内容を反映した原案について審議した。

最後に、今年度活動実績と来年度活動計画について討議した。来年度は、継続で「エアドライヤのトラブルシューティングに関するガイドライン」を取り上げることにした。

次回開催：7月17日、機械振興会館

油圧フィルタ・作動油分科会

日時 2月13日(木) 13:00~16:00

場所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 難波主査以下 7 名

事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について審議した。ISO/SR 18413 について、特に問題ないため

Confirmにて投票することとした。

次いで、本年開催のISO/TC131国際会議のスケジュールについて紹介があり、情報共有した。

次いで、昨年12月開催されたJIS原案作成本委員会の報告があった。審議案件のJIS B9933（対応国際規格：ISO 4406）の改正について、指摘事項の確認及び修正案を審議した。

次いで、JIS B 9933の改正について、対応国際規格（ISO 4406）の変更箇所に対するJISの対応修正箇所を確認し審議した。本原案にて日本規格協会に様式調整提出した後、JIS原案作成本委員会にて審議頂くこととした。

次いで、ポケットブックの改訂について、当分科会で作業する内容に関して討議した。

最後に、今年度活動実績と来年度活動計画について討議した。来年度は、継続で「JIS B8356-2（油圧用フィルタ性能評価方法—第2部：フィルタエレメントの組立完全性試験及びファーストバブルポイントの測定）の改正」を取り上げることにした。

次回開催：6月11日、機械振興会館

~~~~~  
技術調査事業  
~~~~~

技術委員会油圧・空気圧部会若手技術者懇談会

日時 2月4日（火）13：15～18：30

場所 機械振興会館

出席者 井川彰・満嶋弘二部会長以下29名

講師 中村太郎（中央大学 理工学部 教授）

事務局 大橋

概要

油圧・空気圧部会の2019年度第2回目となる若手技術者懇談は、第1回の合同開催が好評だったことから、引き続き合同で開催することとし、講演会とグループ討議を主体とした。油圧12社15名、空気圧7社14名、合計29名の多くの若手の参加により、盛大な懇談会を行うことができた。

冒頭、井川部会長の挨拶とスケジュールの発表、講師の紹介があり、満嶋部会長の挨拶の後、講演に移った。

若手技術者懇談会 プログラム	
はじめに	13：30～13：35 懇談会の目的
第1部	13：35～14：45 中村先生 ご講演 「イノベーションだけでは終わらせない ～フルードパワーを用いた生物型ソフトロボットの開発と事業化への挑戦」
第2部	15：00～16：00 グループ討議 16：10～17：00 発表 「講演を聞いて油圧/空気圧がロボット社会に貢献できること」
第3部	17：10～18：30 懇親会

第1部：講演「イノベーションだけでは終わらせない～フルードパワーを用いた生物型ソフトロボットの開発と事業化への挑戦～」

中村講師は、挑戦的な演題が示すように、ソフトロボティクスの分野で様々なタイプのロボットの開発を精力的に行い、常にその事業化を目標としている。JAXA、NEDO などとの共同研究・開発をはじめ、ベンチャー企業「SoLARIS」の主宰者としても事業化を推進中である。

講演では、冒頭から「改良屋さんになっていませんか？ 分析屋さんになっていませんか？」の問いかけがあり、「デザイン思考」の重要性が強調された。また、ベンチャー企業に関しては、「自分の技術でお金が生み出せるのか！！」を課題としてどのように進めるのかの説明がなされ、参加者には強烈なインパクトがあったものと思われる。



開発した空気圧人工筋を説明する中村講師

第2部：グループ討議と発表、質疑応答

講演後、約1時間にわたり油圧、空気圧各3班の6班に分かれて、グループ討議を実施した。各自事前レポート「油圧/空気圧がロボット社会に貢献できること」とも照らし合わせながら、聴講しての感想や意見などを述べ、活発に討議が行われた。各々5分の発表時間で代表者が発表し、中村講師からそれ

ぞれにコメントをいただいて、より一層の刺激を受けたようである。



グループ討議風景



グループ E の発表 (SMC 藤枝誉さん)

### 第 3 部：懇親会

懇談会後の懇親会は、会館地下 3 階のニュートキョウにて立食形式で行った。中村講師にも加わっていただき、参加者が積極的に質問をする姿が印象的だった。また、前回の参加者が大半であり、旧交を温めていた。

今回は油・空圧合同開催の 2 回目として、具体的な計画を井川部会長が担当し、満嶋部会長がサポートする形で進めた。成功裏に終えることができたことから、主催側としては、来年度も合同で開催することとし、開催時期を極力早めることを確認しても解散した。部会長お二人のご尽力に感謝申し上げる。なお、詳細報告は機関誌「フルードパワー」2020 年春号 (Vol. 34, No. 2) に掲載する予定である。また、2019 年に第 79 回フルードパワー研究室訪問を実施し、機関誌 2019 年秋号 (Vol. 33, No. 4) に記事を掲載しているので興味のある方は、併せて読んでいただきたい。

ADS 国際標準化推進委員会 (第 4 回) 2019

開催日 2 月 5 日 (水)

場 所 機械振興会館 B3-6 会議室

出席者 池尾委員長以下 14 名

事務局 藤原、宮川、大野、大橋

### 議 事

本年度最終回としての池尾委員長開会挨拶の後、議事に移った。

#### 1. 2019 年度 成果報告書の概要

藤原専務より、2 月 3 日に野村総研に提出した成果報告書 (概要版) の要点が配布資料に基づき説明された。ISO に提出済み審議中のポンプ試験法案、及び今後提出予定の用語の 2 点の規格について、それぞれ ISO 審議段階コードに照らして現状と今後の日程が紹介された。

#### 2. ISO-TC131/SC8 関連

事務局より、2 月中に ISO に新規提案する予定の WD 案について、要点の説明がなされた。

規格本文では、Water-hydraulic system として水圧源の有無による 2 種の回路構成を示し、併せて水質に関する基準 5 項目を表にて示した。用語とその定義は、それらの関連主要用語の中から水圧固有の用語 9 語、及び油圧と共通する用語等の引用 9 語の合計 18 語に限定した。

#### 3. 2019 年度 WG-A~E 実施結果報告

配布資料に基づき、出席 3 大学の先生及び学生から本年度の実施結果 4 テーマが発表され、活発な質疑応答が行われた。各 WG の報告内容は、成果報告書 (技術資料) にまとめ、添付資料として野村総研に提出する。

#### 4. 2021 年度以降の取り組み内容と取り組み体制

2020 年度は最終年度として引き続き実験、及び進行中の 2 テーマの ISO 提案活動を推進することを確認した。

2021 年以降の国際標準開発委託事業企画に関しては、各大学への個別ヒアリングを早期に実施して検討することとした。

次回開催：2020 年度第 1 回は別途調整する。

### 油圧ポケットブック編集委員会

日 時 2 月 6 日 (木) 13:00~16:30

場 所 機械振興会館 B3-3 会議室

出席者 北川委員長以下 8 名

事務局 前畑、大橋

### 議 事

まず、前回審議事項のフォローとして、3.4: その他の機器 (山本委員)、6 章: メカトロニクス (北川委員長)、8.2: 空気混入石油系作動油の体積弾性係数の計算式について (満嶋委員)、10.1: ポンプ取付フランジ寸法 (加藤委員)、10.3.2: O リングシールポートの表面性状 (渡部委員)、10.3.5: SAE 規格 (渡

部委員)について検討結果が報告され討議された。

次いで、今回の審議事項として、4章：作動油(難波委員)、10.8～10.10：油圧JIS一覽他(事務局)、11章：単位換算表(満嶋委員)、12章：日本フルードパワー工業会関連事項(事務局)について審議した。

今回で一部を除きほぼ全部の審議が終わり、今後、最終原稿を整理し、印刷所に提出することとした。また、次回の編集委員会は、初校が出来上がったタイミングで開催することとした。

次回開催：別途調整

技術委員会空気圧部会第568回特許分科会  
日時 2月21日(金) 13:00～17:00  
場所 名古屋国際センター 第5会議室  
出席者 井野幹事以下5名  
事務局 吉田  
議事

前回議事録確認後、公報の検討と無効理由調査について審議した。3件については引き続き調査をすることとした。2件の新規案件が提出され調査検討していくこととなった。

令和元年意匠法改正の関連意匠について情報交換があった。

次回開催：別途調整

~~~~~  
中小企業関連事業  
~~~~~

中小企業委員会・国際委員会共催講演会  
日時 2月5日(水) 15:00～17:00  
場所 機械振興会館 6D-4会議室  
出席者 17名  
事務局 藤原、堀江  
議事

(1頁及び2頁参照)

~~~~~  
今後の主要行事予定  
~~~~~

\*2020年

☆4月17日(金)第89回理事会

中止 書面でのみなし理事会とする

☆5月21日(木)第21回定時総会

中止 書面でのみなし総会とする

総会後の懇親会

中止

☆5月22日(金)第59回JFPA懇親ゴルフ会

中止

~~~~~  
2,3月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)  
~~~~~

(国際交流及び中小企業委員会共催事業)  
講演会：「職務分析・職務評価とは～同一労働  
同一賃金への対応に向けて～」

開催日 2月5日(水)

中小企業委員会

委員長 十萬幹雄(神威産業)

副委員長 杉村登夢(日本アキュムレータ)

国際委員会

委員長 新開 諭(甲南電機)

参加者 田島浩介(神威産業)

〃 松井源太郎(マツイ)

〃 高野博司(三輪精機)

〃 澤田啓支朗(タイヨーインタナショナル)

〃 府川周平(廣瀬バルブ工業)

〃 長野英児(光陽精機)

〃 篠根邦夫(堀内機械)

〃 矢作秀郷(油研工業)

〃 昼間将司(藤倉コンポジット)

〃 大場隆文(日立ニコトランスミッション)

〃 山崎 隆(長岡歯車製作所)

〃 小原敏治(小原歯車工業)

〃 引地洋平(日本ロボット工業会)

〃 夏見祐奈(経済産業省)

(標準化事業/ISO対策事業)

空気圧コンタミ分科会

開催日 2月7日(金)

出席者

主査 田中崇行(SMC)

委員 佐々木政彰(アズビルTACO)

〃 三井康夫(オリオン機械)

〃 大嶽康行(CKD)

空気圧バルブ分科会

開催日 2月12日(水)

出席者

主 査 渡邊陽 (コガネイ)  
委 員 田路渡 (甲南電機)  
〃 夏目清辰 (CKD)  
〃 八手又秀浩 (日本ピスコ)  
〃 鈴木一成 (妙徳)

空気圧調質機器分科会

開催日 2月18日(火)

出席者

主 査 國崎雄嗣 (CKD)  
委 員 三村岳 (SMC)  
〃 阪上隆之 (甲南電機)  
〃 土岐真人 (コガネイ)

油圧バルブ分科会

開催日 2月25日(火)

出席者

主 査 浦井隆宏 (ボッシュ・レックスロス)  
委 員 原健二郎 (川崎重工業)  
〃 中村雅之 (KYB)  
〃 小林正幸 (ナブテスコ)  
〃 八上光春 (廣瀬バルブ工業)  
〃 小林義伸 (日立建機)

(標準化事業/規格事業)

空気圧システム分科会

開催日 2月5日(水)

出席者

主 査 増尾秀三 (CKD)  
委 員 佐々木政彰 (アズビルTACO)  
〃 張本護平 (SMC)  
〃 吉田典世 (甲南電機)  
〃 寺木功一 (コガネイ)  
〃 阪本晴康 (TAIYO)

空気圧エアドライヤ分科会

開催日 2月7日(金)

出席者

主 査 花澤一吉 (CKD)  
委 員 那須一文 (SMC)  
〃 竹内則久 (オリオン機械)  
〃 小山壽士 (日本精器)

油圧フィルタ・作動油分科会

開催日 2月13日(木)

出席者

主 査 難波竹己 (日本ボール)

委 員 遠藤剛 (SMC)  
〃 水落桂 (大生工業)  
〃 菊地大輔 (東京計器)  
〃 佐藤泰路 (ボッシュ・レックスロス)  
〃 大塚宏行 (油研工業)  
〃 三好真介 (MORESCO)

(技術調査事業)

技術委員会 油圧・空気圧部会若手技術者懇談会

開催日 2月4日(火)

出席者

部会長 油圧・満嶋弘二 (KYB)  
空気圧・井川 彰 (CKD)

講 師 中村太郎 (中央大学・教授)

参加者 (油圧)

〃 白井敦士 (川崎重工業)  
〃 鋸屋宜和 (KYB)  
〃 村田 学 (KYB)  
〃 金 星 (ダイキン工業)  
〃 菊井巧也 (ダイキン工業)  
〃 弘中紀雄 (TAIYO)  
〃 辻田友貴 (タカコ)  
〃 小林 萌 (東京計器)  
〃 宮脇祐樹 (南武)  
〃 榎本亮太 (日東工器)  
〃 新井大二郎 (日立建機)  
〃 川澄翔平 (日立建機)  
〃 平野峻之 (廣瀬バルブ工業)  
〃 土師裕也 (ボッシュ・レックスロス)  
〃 山西弘久 (住友精密工業)

参加者 (空気圧)

〃 猪原剛汰 (SMC)  
〃 藤枝 誉 (SMC)  
〃 木元圭介 (SMC)  
〃 松元謙治 (SMC)  
〃 藤田裕太郎 (甲南電機)  
〃 高岡博貴 (コガネイ)  
〃 森口翔太 (コガネイ)  
〃 畑中翔太郎 (CKD)  
〃 三浦一輝 (CKD)  
〃 蒲生 海 (CKD)  
〃 大石貴弘 (TAIYO)  
〃 松本恭輔 (日東工器)  
〃 塩澤 怜 (日本ピスコ)  
〃 山崎 颯 (日本ピスコ)

ADS 国際標準化推進委員会

開催日 2月5日(水)

出席者

委員長 池尾 茂 (上智大学)

委員 柳田秀記 (豊橋技術科学大学)

〃 飯尾昭一郎 (信州大学)

〃 大林義博 (KYB)

〃 黒須 寛 (イハラサイエンス)

〃 松村悠太 (阪上製作所)

〃 井口 務 (廣瀬バルブ工業)

オブザーバー 夏見祐奈 (経済産業省)

オブザーバー 水之浦啓介 (野村総合研究所)

学生 大塚怜汰 (横浜国立大学)

〃 錦戸将也 (横浜国立大学)

〃 渡辺あかり (信州大学)

〃 武井裕紀 (信州大学)

〃 岡崎和満 (豊橋技科大学)

油圧ポケットブック編集委員会

開催日 2月6日(木)

出席者

委員長 北川能 (東工大名誉教授)

主査 渋谷文昭 (東京計器)

委員 加藤弘毅 (KYB)

〃 満嶋弘二 (KYB)

〃 山本裕 (ボッシュ・レックスロス)

〃 渡部文雄 (日本シリンダ共同事業)

〃 高野一治 (油研工業)

〃 難波竹己 (日本ポール)

技術委員会空気圧部会第568回特許分科会

開催日 2月21日(金)

出席者

幹事 井野雅康 (SMC)

委員 河野喜之 (甲南電機)

〃 安田善仁 (甲南電機)

〃 今野英俊 (コガネイ)

〃 細田一也 (CKD)

(振興対策事業)

シリンダ部会

開催日 2月20日(木)

出席者

委員 藤井茂男 (光陽精機)

〃 米田正晴 (TAIYO)

〃 吉富英明 (南武)

〃 増井丈雄 (日本シリンダ共同事業)

〃 沢辺 充 (三尾製作所)

〃 小泉 清 (油研工業)

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<2月>

4日(火)

・技術(委)油圧・空気圧若手技術者懇談会

5日(水)

・技術(委)ADS国際標準化推進委員会

・中小企業(委)・国際(委)共催講演会

・標準化(委)空気圧システム分科会

6日(木)

・技術(委)油圧ポケットブック編集委員会

7日(金)

・ISO(委)空気圧コンタミ分科会

・標準化(委)空気圧エアドライヤ分科会

12日(水)

・ISO(委)空気圧バルブ分科会

13日(木)

・標準化(委)フィルタ・作動油分科会

18日(火)

・ISO(委)空気圧調質機器分科会

20日(木)

・振興対策 シリンダ部会

21日(金)

・技術(委)空気圧部会第568回特許分科会

25日(火)

・ISO(委)油圧バルブ分科会

<3月>

30日(月)

・政策委員会 中止

~~~~~

工業会から

~~~~~

☆ 事務局員の採用

2020年4月1日 東京計器(株)を退社された饗庭健一氏が着任されます。

☆ 新型コロナウイルス感染防止に関する工業会の対応について

新型コロナウイルス感染症対策本部から、令和2

年2月25日に、新型コロナウイルス感染症対策の基本方針が発表されました。

この中で、患者・感染者との接触機会を減らす観点から、企業に対して発熱等の風邪症状が見られる職員等への休暇取得の勧奨、テレワークや時差出勤の推進等が強力に呼びかけられました。当工業会でも、これを受けて、3月1日以降当面の間、以下の体制で臨みますので、ご協力よろしく願いいたします。

#### 【工業会活動】

1. 政策委員会は中止、4月理事会は書面審議とする。5月予定の総会については、縮小開催を検討する。
2. 会議・懇親会等の部会・委員会は、当面の間実施を自粛する。
3. 不急の出張、外部会議への参加は、当面自粛する。

#### 【勤務態勢】

1. 職員は、適切な新型コロナウイルス感染予防の対応を図ること。
2. 熱や咳等風邪症状があるときは、いきなり医療機関の診察を受けるのではなく、「帰国者・接触者相談センター」に連絡・相談の上、医療機関等の診断を受ける等状況を十分判断し対処すること。
3. 出勤時間については、あらかじめ事務局長の了解を得て、1～2時間前後の時差出退勤を認める。
4. 自宅でのテレワークが可能な場合、当該日の業務内容をあらかじめ事務局長に届けて、その了解を得て認める。
5. 新型コロナウイルスに感染した場合は、直ちに工業会に連絡する。

以上.

---

#### ☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

#### ☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁HPでも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

---